

平成 27 年度  
大阪ペピイ動物看護専門学校  
学校関係者評価報告書

平成 28 年 3 月

学校法人宮崎学園  
大阪ペピイ動物看護専門学校



## 平成 27 年度 学校関係者評価報告書について

大阪ペピイ動物看護専門学校は、本校の教育理念・教育方針や教育活動、学校運営等につきまして学校自己評価を実施し、「平成 27 年度学校自己評価報告書」を取りまとめて、本校のホームページに公開いたしました。

また、この度は本校の教育活動と学校運営等につきまして、獣医療関係者や動物関連分野企業等関係者、保護者、卒業生等の方々のご意見を反映させることを目的に、学校評価委員会を設置し学校関係者評価を実施いたしました。

学校評価委員会におきまして、評価委員の方々には「平成 27 年度学校自己評価報告書」についてのご意見等をいただき、「平成 27 年度学校関係者評価報告書」として取りまとめました。

今後は、ご指摘いただきましたところは謙虚に受け止め、より良い教育の場を目指し、教職員一同、改善・向上に尽力してまいります。

関係者の皆様には、今後とも引き続き、ご支援とご指導をお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月  
学校法人 宮崎学園  
大阪ペピイ動物看護専門学校  
学校長・学校関係者評価委員長  
澄田 新

学校関係者評価委員会

委員氏名	所 属	備 考
澄田 新(委員長)	大阪ペピイ動物看護専門学校 校長	学校長
細井戸 大成	公益社団法人 大阪市獣医師会 会長	獣医療関係者
会亀 昭夫	全日本獣医師協同組合 理事長	獣医療関係者
小西 恭一	あぶの動物病院 院長	獣医療関係者
西澤 亮治	特定非営利活動法人 動物愛護社会 化推進協会 事務局長	関連分野企業等 関係者
平尾 泰久	新日本カレンダー株式会社 取締役	関連分野企業等 関係者
岸本 貴行	大阪ペピイ動物看護専門学校 在校生 保護者	保護者
川田 篤司	大阪ペピイ動物看護専門学校 卒業生	卒業生
永井 正三	大阪ペピイ動物看護専門学校 副校長／事務局長	その他校長委嘱者
青木 理子	大阪ペピイ動物看護専門学校 副校長補佐／就職委員長	その他校長委嘱者
檜山 道成	大阪ペピイ動物看護専門学校 事務部長／学生委員長	その他校長委嘱者

# 1. 学校の教育目標

## 評価者意見等

- ◆ 理念・教育目標・育成人材像、全てにおいて非常に困難な課題ではありますが、教職員皆さまの努力の跡が見て取れます。
- ◆ 主な就職先である動物病院と、その顧客(ペットの飼い主)のニーズに、十分に則した目標だと思います。
- ◆ 「慮る」心や精神を育む教育方針は堅持して欲しい。人を慮り動物を慮る、とても崇高な精神であるが、その方向性が大事である。特に学内の飼育動物に関しては、いかに慮るのか?なぜ学校に居るのか、その方向性や意味を教職員・学生を問わず皆で考え、動物への思いや対応に大きなバラツキが無いよう望みたい。  
動物福祉は重要な課題であるが、動物の専門家である我々が考える動物福祉は、一般の飼い主やいわゆる愛護団体が言う動物福祉と同じレベルであってはならない。もちろん長時間の拘束はもってのほかであるが、学校で飼う動物は実習に出てくるのが嬉しくて仕方がない、実習に出てきて診察台に乗り、学生や先生に会って褒められるのが嬉しくて大変協力的である、といった動物に育てるべきだと考えている。現場は、そんないい子ばかりではないので、いう事を聞かない子や性格の悪い子が居たほうがいいのかなどという意見もあるが、それこそそんなのは動物病院に勤務すればいくらかでも居るし、基本さえしっかりしていればちゃんと対応できる。それよりも、おとなしく協力的な動物で基本をしっかり学ぶ方が理に適っているといえる。そのためには、保定や動物の取り扱いの基本をしっかり身に着けた教員の養成・確保が必要である。
- ◆ 動物の為の存在という事だけでなく、地域貢献も視野に入れておられるのは、幅広い意味で社会に貢献できる人材を育成することでもありすばらしいと思います。

# 2. 平成27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

## 評価者意見等

- ◆ どの項目も真摯に受け止め、目標や計画の達成と対策がなされていると感じます。“学校中期計画の策定”につきましては、今の世の中、数年先を見通すのは本当に厳しく、直近一年の目標計画を丁寧に着実に実行していけば、先は見えてくるのだと思います。
- ◆ 3. 危機管理マニュアルの策定と防災訓練の実施  
せめて教員による防犯訓練を実施してください。
- ◆ 6. 動物看護師統一認定試験100%合格  
認定動物看護師試験については100%の達成は叶いませんでした、この試験導入後、高い合格率を維持されており、教職員の皆様の適切な指導の現れと思います。
- ◆ 8. 新入生150名以上確保  
新入生の獲得については、今後も厳しい状況が続くことが推察されます。募集のプログラム、広報等については一層の工夫、努力が必要と思われます。  
病院に学校パンフレットを置いてもらい看護師という仕事となるための学校があるということを知ってもらう。
- ◆ 教育目標に定める「社会のニーズに応じた」に関連して、20年経った現在、今一度どのようなニーズに対応していく必要があるのかという点についての深堀を中期計画の策定の中で行っていくべきかと思います。

### 3. 平成28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

#### 評価者意見等

- ◆ 一年生の離脱者問題は、理想と現実のギャップからくるものと思われ、それを担当する教職員が居られれば、あるいは増員できればと考えてしまいます。ハッピープレイスが加わることによる新たな教育効果が花開くことを期待したいです。
- ◆ 認定試験合格率100%を目指していた27年度を28年度は97%に落としたのは達成率を考えての事でしょうか？平均になっているのでいいのかもしれませんが、目標という意味では100%ではないでしょうか。
- ◆ 4. 防災訓練の実施と食糧等の備蓄  
防災訓練の実施が実施されなかった点は残念です。人もペットも災害に備えた日頃からの備え、意識の継続が重要と思いますので、避難訓練と合わせ、防災、同行避難等についての指導、帰宅難民の想定等もお願いします。
- ◆ 現状に即した必要事項がしっかりと盛り込まれているように思います。  
意見など特にございませぬ。

## 4. 平成27年度評価項目の達成及び取組状況

### 1 教育理念・目標

◆よく取り組まれていると感じます。

### 2 学校運営

◆2-12 事故の防止のため、出入口、各フロアー、階段など、学校施設内に複数の「監視カメラ」の設置を検討されたら如何でしょうか。「学生を監視する」のではなく、不審者の侵入防止(特に学校事務室を通らずに入ることのできる新館部分)や保護者に対する安心度の効果が望めると思います。

◆よく取り組まれていると感じます。

### 3 教育活動

◆全体的によくポイントがおさえてあり、まとめられていると思います。ただ、ペットの動物医療環境も今後変化してくると思われ(飼育者の高齢化、ペットの減少、長寿化など)。ですので、より一層、動物病院、顧客であるペット飼育者のニーズに応えることができるプログラム、指導をお願いします。

◆3-18 採用基準書、履歴書  
大切な項目と考えますので、至急に整備して頂きたいです。

◆よく取り組まれていると感じます。

◆コアカリで手一杯かと思いますが、国の教育方針の変化に合わせた「考える力」を育成するカリキュラムがあると、社会人としての質的向上にもつながると思います。  
何はともあれ、5S、ホウレンソウ、PDCAの習慣づけが基本かと思えます。

### 4 学修成果

◆今後取り組むべき点が明確にされており、次につながるものと思います。

◆4-4 学習要領、科目概要、年間スケジュール  
3-18にも関連しており、特に客観的で適正な人事考課制度の導入、運用について早急な整備、対応を希望します。

◆4-8  
今後は、卒業後の職場への定着率についても調査していくことが必要だと考えます。

### 5 学生支援

◆卒業教育のe-learningなどはないでしょうか？  
卒業生を同窓会組織とし、会費を集め、皆で学びの機会を作り、卒業生以外は少し割増した会費で参加可能にし、皆でセミナー動画を共有するだけでも、安価で身近な、継続的な学びの機会を提供できるように思います。

◆よく取り組まれていると感じます。

## 6 教育環境

- ◆ 今後取り組むべき点が明確にされており、次につながるものと思います。
- ◆ 6-3 教職員に対して教育訓練や避難訓練の実施  
学校として教育訓練を実施しており、個人研究費制度という助成制度の充実しているため、評価の点数をもう一段階上にしても良いと思います。
- ◆ 6-3 研修資料、教育研究課程、個人研究～ 防災計画書、防災マニュアル  
コアカリの導入、認定試験の実施、学生の募集等、教職員の作業、時間的な負荷は年々高くなっているように感じます。その中で、個々のスキル、レベルアップを図ることは容易ではないと思いますが、継続して取り組んでいただければと思います。  
防災訓練に関しては3-4と同様です。

## 7 学生の受入れ募集

- ◆ 全体的に十分な対応がなされていると考えます。  
ただし、2-8 と同様、今後ペット産業、動物医療が置かれる環境は厳しくなっていくことが推測されるため、ペピイと特徴、特色を構築し、学生募集につなげていくことが大事かと考えます。
- ◆ よく取り組まれていると感じます。
- ◆ 動物看護師という職業の価値を発信する学外での高校生や保護者を対象とした講演などの機会はあるのでしょうか。  
地域競合しない他校とも連携して、全国的にPRする機会を検討するのもいいかと思いました。  
動物看護師が社会のどのような所で活躍する機会があるかを知ること目指す人の幅も広げられるのではないのでしょうか。

## 8 教育の内部質保証システム

- ◆ よく取り組まれていると感じます。
- ◆ 各種管理規程等については、非常に重要なものなので、早急な対応をお願いします。
- ◆ 8-2 物理的な保管場所、スペースの不足もあると思いますが、文書の管理、保管に関わるルール作り、運用を早急をお願いします。

## 9 財務

- ◆ よく取り組まれていると感じます。

## 10 社会貢献・地域貢献

- ◆ 地域の市民向け、もしくは社会人向けの公開講座(もちろんペットに関するテーマで)の開催を検討してみたら如何でしょうか。講師は、学校の教員、関係者、外部からの招へい等も検討し、社会貢献だけでなく「ペピイ」の告知効果もあわせて期待できると思います。
- ◆ 動物看護のプロとして貢献できる新たな分野や場を広げていっていただきたい。
- ◆ よく取り組まれていると感じます。